

花爛漫

校訓
鍛英自律
錬知



宇城市立三角中学校
学校新聞
令和4年11月16日
編集代表
校長 橋口 京輔

進路選択に向けて大事なこと 校長室より

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度から高校入試日も以前と比べ二週間程早くに設定されるようになりました。その結果、三年生の三者面談も本校では十一月二十二日から実施する計画にしています。三年生にとって進路選択・決定に向けての取組がいよいよ本格化するわけです。人生にとって最初の岐路に立たされるといっても過言ではないでしょう。

自分としっかり向き合い、しっかりと自分の考えを持つ ～キャリア教育の推進～



三者面談

11/22(水)～12/1(水)

進路選択に向けて大事なことは、「自分にはどんな良さがあるのか」「将来どんな仕事や職業に就きたいのか」「自分の力が発揮できる学校はどこか」「家庭の協力は得られるか」「通学は大丈夫か」...等、進路選択のために必要となる要件や要素はたくさんあります。自分としっかり向き合い、しっかりと自分の考えを持って進路選択して欲しいと思います。一番大事なのは、三年間の高校生活が「楽しかった」「頑張れた」など充実したものになるような高校、自分の力が発揮できる高校を選択していくことだと思えます。そのためには、自分で様々な情報を集めたり、わからないことは先生に聞いたり、家族とも相談したりして、納得のいく進路選択をしていくことです。大人への第一歩です。頑張れー、三年生！



宇城音楽会 3年2組の合唱

2年生は職業講話・ものづくり体験学習を行いました!

一年生では、通常職場体験学習を行っていましたが、コロナ禍により職場に向いての活動が難しい状況にあります。昨年までの二年間は、地域の方や地域ゆかりの職業の方に学校に来ていただき、「職業講話」を行ってまいりました。今年度は「職業講話」に加え、体験活動も取り入れようということで企画しています。まず、職業講話では、天川花園の嶋田様、農家★ハンターの稲葉様、海上保安庁の新田様・佐藤様のお話を聞きました。

「ものづくり体験学習」は、熊本県職業能力開発協会の「ものづくり」。



子供たちは、それぞれ興味を持ち、意欲的に質問していました。

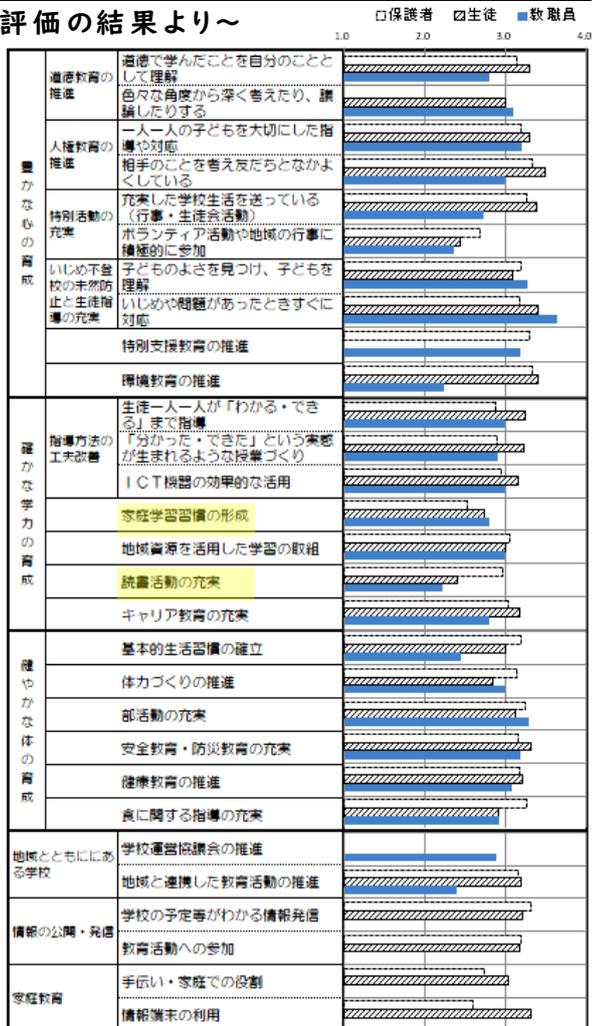
「家庭学習習慣」、「読書」の課題克服をめざします

～前期学校評価の結果より～

学校では、教育水準の向上を図るために、教育活動等についての評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を行っています。

今年度も2回行いますが、前期は生徒・保護者・教職員を対象に学校評価を行いました。結果は右のグラフの通りで、「家庭学習」「読書活動」に課題が見られました。

家庭学習習慣の形成については、本校の以前からの課題です。現在は、毎月の家庭学習強化週間の設定や、帰りの会で計画を立てて家庭学習に取り組むことを行っています。この取組を継続的に進め、ご家庭と協力しながら改善を図っていきたいと思います。読書活動については、年間貸出冊数を4000冊と設定しましたが、10月が終わった時点で2002冊となっています。“本は心の栄養剤”です。対策を進めていく予定です。



建築大工 和菓子

建築大工では椅子づくり、和菓子では餡練り物(みかん・さくら)づくり、陶磁器製造ではマグカップの絵付け、洋菓子ではガトーショコラづくりを学びました。親子で大変貴重な体験ができました。



陶磁器 洋菓子

建築大工では椅子づくり、和菓子では餡練り物(みかん・さくら)づくり、陶磁器製造ではマグカップの絵付け、洋菓子ではガトーショコラづくりを学びました。親子で大変貴重な体験ができました。



KKT賞受賞の大鶴結さん おめでとう!

品さされます。

受賞おめでとう! 県発明工夫展でKKT賞

十一月七日、第五十七回熊本県発明工夫展の表彰式が県庁で行われました。この作品は、腕を持って支えながら歩いている祖母を見て思いついたそうです。発想力が素晴らしいです。この作品は、全日本学生児童発明くふう展にも出品されます。



三角ホームページのメニューは右にあります。